

九州地整局「令和8年度新規採用職員入省式」開く  
新規採用職員144人が地域の安全・安心を支えていく決意を誓う



**新規採用職員を代表して辞令交付を受ける三宮さん**

九州地方整備局は1日、福岡市博多区の福岡第二合同庁舎2階会議室で「令和8年度新規採用職員の入省式」を開催した。今年度の新規採用職員は事務47人、技術97人の過去4年間で最大の合計144人、うち女性職員が30人（採用率26.3%）。紺や黒の真新しいスーツに身を包んだ若者たちや民間企業での経験を経て中途採用で入省した職員らが九州

地方の安全・安心な地域づくりという重責を胸に、公務員としてのキャリアをスタートさせた。

入省式には、垣下禎裕局長や副局長ら関係幹部も出席。冒頭の辞令交付で新規採用職員の氏名点呼があり、一人ひとりが力強い返事とともに起立し、職員を代表して三宮大聖さん（土木科・佐賀国道事務所管理第二課）が垣下局長から辞令交付を受けた。このあと、垣下局長を前に竹岡澤さん（事務・熊本河川国道事



**挨拶の垣下局長**



**服務宣誓の竹岡さん**



**答礼の山田さん**

務所占用調整課)が「国民全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、上司の職務上の命令に従い、不偏不党かつ公正に職務の遂行に当たることをかたく誓います」と力強く宣誓。山田佑衣さん(行政・鹿児島港湾・空港整備事務所)は「日々の業務に全力で取り組み、一日も早く職務に慣れ、皆様のお力になれるよう努力を重ねてまいります。また、諸先輩方のご指導を仰ぎながら、公務の担い手として貢献できるよう、たゆまぬ努力を続けてまいります」と答礼の言葉を述べた。

挨拶で、垣下局長は「新たに九州地方整備局に加わられた皆さんを、心から歓迎いたします。九州は、毎年のように大規模な自然災害に見舞われる地域であります。災害に対する備えを万全なものとしていくことは、私たちに課せられた極めて重要な使命の一つです。国民の生命と暮らしを守り、地域の安全・安心を支えていくことこそ、九州地方整備局の大きな役割であります。地域の皆様から信頼され、頼りにされる存在として、その使命を自覚し、職務に励んでいただくことを大いに期待しております。本日は、新しく来られた皆さんに、三つ申し上げたいと思います。第一は、国家公務員としての自覚です。勤務中はもちろん、勤務外においても、その自覚と責任を忘れることなく、節度ある行動を心がけていただきたい。第二は、組織におけるチームワークの大切さです。職務を遂行するにあたっては、上司や同僚と十分に連携し、互いに支え合いながら、組織として責任を果たしていくことが重要です。第三は、健康管理の徹底です。日頃から仕事にメリハリをつけ、休憩、休息、休日をしっかり確保し、健康管理と自己管理に努めていただきたいと思います。結びに、皆さんが今後、九州地方整備局の職員として大いに成長し、それぞれの持ち場で力を発揮されることを心から期待しております」と訓示を述べた。

新規採用職員はこのあと配属先の事務所に着任し、5日間の職員合同研修を得て、本格勤務に就く予定となっている。